

「光老化」啓発プロジェクト・第三期活動への協賛のお願い

謹啓 時下、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

2016年4月よりスタートいたしました「光老化」啓発プロジェクト活動も本年度で第三期を迎えることとなりました。これまで幅広い分野の企業団体からのご協力を賜り、様々な啓発活動を積極的に推進してまいりました。その結果第二期におきましては、「光老化」に対する国民の理解度、認知率も向上し一定の成果をあげることができました。

引き続き第三期啓発活動(2018年度)では、さらなる「光老化」認知率の向上を目指し“太陽光を無防備に浴びるリスクに対する社会的なコンセンサス醸成”に努めてまいります。第二期活動報告および第三期活動計画を添付いたします。

国民の美と健康に寄与する活動に対して積極的に取り組まれている御社におかれましても本活動の趣旨をご理解いただいたうえで、「光老化」啓発プロジェクト第三期活動に対しまして是非ご協賛をお願いする次第でございます。

ご検討の程、なにとぞ宜しくお願い申し上げます。

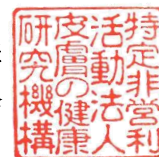
謹白

2018年6月吉日



(商標登録：第5946159号)

特定非営利活動法人皮膚の健康研究機構
「光老化」啓発プロジェクト委員会



川島 眞	東京女子医科大学 名誉教授
川田 暁	近畿大学皮膚科 教授
錦織 千佳子	神戸大学皮膚科 教授
宮地 良樹	京都大学 名誉教授
森田 明理	名古屋市立大学皮膚科 教授

「光老化」啓発プロジェクト概要

■「光老化」啓発プロジェクトの目的

国民に対して、太陽光線（紫外線、可視光線、赤外線）による身体への障害（皮膚における老徴、皮膚癌、白内障など）の理解を深め、それを「光老化」と呼称することの認知度を高める。

- 老徴のみならず皮膚癌予防に通じることを啓発し、国民の健康増進、医療費削減に寄与する。
- 白内障ほかの光線による眼障害を適切に予防することの重要性を啓発する。
- サンスクリーン剤の適正使用を啓発し、日常的に使用することにより光老化を防ぐことが可能であることへの理解を広める。

■啓発対象：国民全体

乳幼児・小児・学童期=保護者、中高生以降～成人

■実施期間：

第1期活動（2016年1月～2017年6月）

第2期活動（2017年7月～2018年6月）

第3期活動（2018年7月～2019年6月）

■活動実施組織

主 催：NPO 法人 皮膚の健康研究機構「光老化」啓発プロジェクト委員会

事務局：NPO 法人 皮膚の健康研究機構内「光老化」啓発プロジェクト事務局

後 援：日本皮膚科学会、日本臨床皮膚科医会、日本美容皮膚科学会、日本化粧品学会、
太陽紫外線防御研究会委員会、日本化粧品工業連合会、日本コスメティック協会、

協 賛：皮膚科・眼科関連学会、化粧品・製薬関連企業、美容関連企業、眼鏡・レンズ関連業界、
フィルム関連業界、その他の関連団体を予定

活動報告書

協賛企業一覧（順不同）

アクセース株式会社、株式会社コーセー、株式会社 資生堂、HOLT ジャパン株式会社
愛眼株式会社、アンファー株式会社、伊藤光学工業株式会社、株式会社FTC、オートグラス株式
会社、花王株式会社、株式会社カネボウ化粧品、サンスター株式会社、株式会社 サンバリア
100、株式会社スキんキュア・ラボ、常盤薬品工業株式会社 ノブ事業部、株式会社ノエビア、株
式会社 明治、株式会社 プロティア・ジャパン、株式会社ポーラ、ポーラ化成工業株式会社、株
式会社 ポーラファルマ、株式会社マナビス化粧品、マルホ株式会社、持田ヘルスケア株式会社
株式会社アイ・ティー・オー、エル・シー・エス株式会社、株式会社ウテナ、株式会社カタログ
ハウス、ジェイオーコスメティックス株式会社、株式会社ジェイメック、ピアス株式会社、株式
会社富士フィルム ヘルスケア ラボラトリー、ロート製薬株式会社
株式会社 applause、株式会社伊勢半、岩瀬コスファ株式会社、株式会社HBCサイエンス研究
所、東洋ビューティ株式会社、日本メナード化粧品株式会社、ビタミンC60バイオリサーチ株式
会社、株式会社 桃谷順天館

後援団体一覧

公益社団法人日本皮膚科学会、日本臨床皮膚科医会、一般社団法人日本美容皮膚科学会、日本香
粧品学会、太陽紫外線防御研究委員会、日本化粧品工業連合会、一般社団法人日本コスメティッ
ク協会

収支 (2015 年 12 月～2018 年 5 月)

収入

【単位：万円】

協賛金	5,232
自己資金	200
収入合計	5,432

支出

2016 年 4 月 日経新聞広告掲載関連	2100
2017 年 5 月 日経新聞広告掲載関連	
資材作成	
新聞広告座談会別刷り, 資材印刷発送費	45
ポスター (4 種), 新デザイン	168
小冊子	85
ホームページ関連	110
PR 活動費用	
企業セミナー	57
臨床皮膚科医会会員向けポスター発送	132
メディアセミナー (2 回)	120
VTR 制作	40
2016 年 8 月	
第 1 回市民公開セミナー+WEB 採録(Yomiuri Online)	750
第 2 回市民公開セミナー+WEB 採録(Yomiuri Online)	845
商標登録・ロゴ作成	100
認知度調査 5 回 実査および集計	100
支出合計	4,652

収入 - 支出 (第 2 期活動繰越金)	780
-----------------------------	------------

「光老化」啓発プロジェクト活動報告概要（2016年度、2017年度）

1. 主催 NPO 法人 皮膚の健康研究機構「光老化」啓発プロジェクト委員会

2. 活動概要

2016年

- 2016年3月4日 太陽紫外線防御研究委員会・シンポジウム
パネルディスカッション〈なぜ「光老化」の認知度は低いのか〉実施
- 2016年3月21日 プロジェクト委員による「光老化をご存じですか？」座談会実施
- 2016年4月5日 日本経済新聞 座談会採録記事掲載
啓発プロジェクトホームページ「ご存知ですか肌の光老化」開設
- 2016年4月20日 第1回メディア勉強会の実施
“肌の光老化とは？～適切な予防法と治療の実践～”
- 2016年7月9日 <私と子供の光老化>対談録画撮影（ホームページで公開中）
- 2016年8月7日 第34回日本美容皮膚科学会総会・学術大会 市民公開講座 実施
- 2016年9月23日 読売新聞・全国版7段への市民公開講座採録記事掲載
- 2016年9～10月 「YOMIURI ONLINE」「yomi Dr」市民公開講座採録記事掲載
- 2016年10月26日 第2回メディア勉強会の実施
“～夏に受けた光老化のダメージケア、油断してはいけない秋～冬の光老化対策～”
- 2017年3月 日本臨床皮膚科医会会員施設 春・夏ポスター配布（各6000枚）
太陽紫外線防御研究委員会・市民公開（3/18）小冊子配布

2017年

- 2017年4月 日経Goody 光老化関連記事掲載
- 2017年5月 日経新聞全国版 座談会採録記事掲載
- 2017年7月 美容皮膚科専門学術誌「Belle Pelle」
「光老化」座談会 「光老化」啓発は十分に進んだか？特集掲載
- 2017年8月 日本臨床皮膚科医会会員誌 秋ポスター・小冊子配布（各4700部）
- 2017年11月 市民公開講座 皮膚科医が考える
『男性も女性も油断してはいけない 冬の光老化対策』実施
- 2017年12月24日 読売新聞・朝刊への市民公開講座採録記事掲載
- 2017年12月 「YOMIURI ONLINE」「yomi Dr」市民公開講座採録記事掲載
- 2018年4月 各メディアへの「光老化」関連の企画化推進・PR活動
NHKBSプレミアム「美と若さの新常識」4月放送
NHK「あさいち」7月放送予定 その他民放、雑誌掲載等
- 2018年7月 東京都認定美容師会 美容師を対象とした光老化啓発勉強会実施
- 2019年8月 秋・冬用 啓発ポスター 臨床皮膚科医会会員に配布予定
- 2019年10月 市民公開講座と採録PR実施

3. KPI 目標達成状況

1) 「光老化」認知率 “知らない” と解答する割合

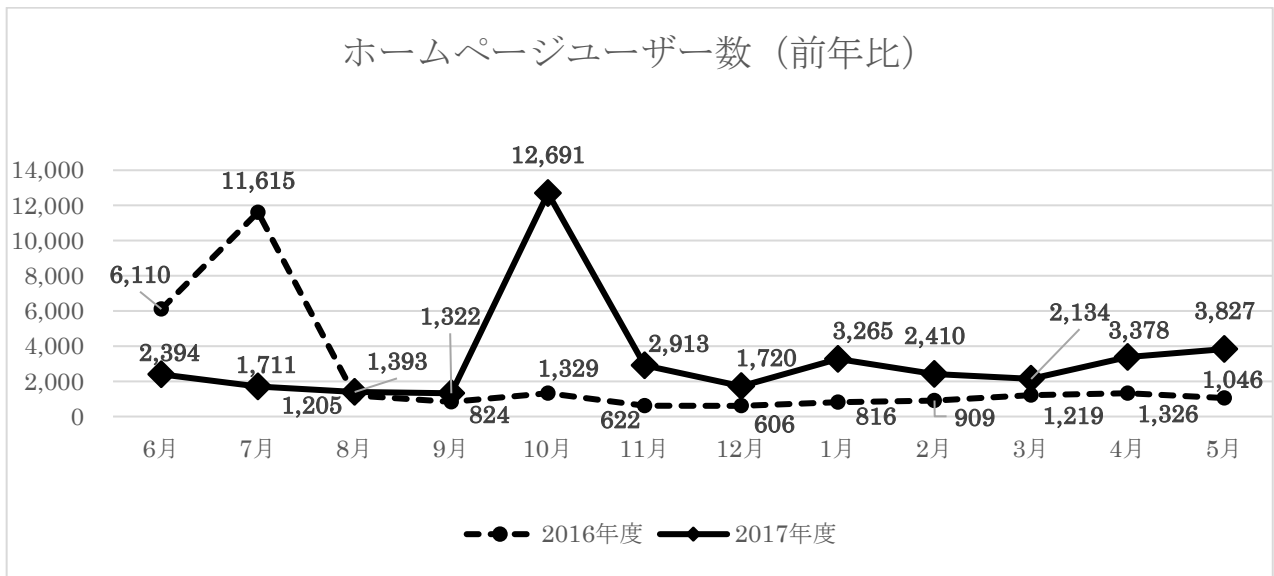
(1) 認知率調査結果	知っている	知らない
第1回(2015年10月)	4.2% (13.8%)	86.2%
第2回(2016年5月)	5.8% (19.6%)	80.4%
第3回(2016年12月)	6.4% (21.1%)	78.8%
第4回(2017年4月)	5.8% (19.6%)	80.4%
第5回(2017年9月)	7.1% (21.8%)	78.2%

()内：聞いたことがある

2) 「光老化」の読み方について 正しく読めた方の割合

	2016年12月	2017年4月	2017年9月
ひかりろうか	31.1%	32.1%	37.8%
こうろうか	37.8%	42.0%	36.5%
みつろうか	4.5%	5.1%	5.8%
分からない	26.6%	20.8%	19.9%

2) ホームページアクセス数



※5月は5/29までの数字

認知率については、「光老化」を知っていると回答した人が前回より約2%、「ひかりろうか」と読めたと回答した人も約5%の向上がみられました。しかし、目標としている認知率に対して大幅な乖離があります。特に「ひかりろうか」と正しく読める方が4割に満たず厳しい状況でした。

一方で、メディアからの「光老化」に関する問い合わせは増加の傾向にあり、「光老化」への注目度が向上していると考えられ、認知率の向上に繋がるのではないかと思います。また、「光老化」の使用に積極的であるメガネ、日傘やアパレル業界でも2018年度も引き続き光老化啓発の展開が行えると思われれます。

しかしながら、未だ「光老化」における認知率は著しくありません。そのため引き続き一年を通じた「ひかりろうか」のワーディングの発信を行ってまいります。

以上

■第三期 (2018年活動予定) 2018年7月～2019年6月

1. 活動基本方針

- 1) 光 (ひかり) 老化の文字使用の徹底と認知・認識率の向上
- 2) 目の光老化の啓発を通じた相乗効果
- 3) 年間 (特に秋・冬) を通じた発信強化
- 4) 男性と学童～学生への啓発

2. 広告活動内容 (発信メッセージ)

1) メッセージ

- 2018年7-9月 サンスクリーンの正しい塗り方・選び方
目の光老化
- 2018年10-12月 秋・冬の紫外線他対策の重要性
夏の肌ダメージケア方法
- 2019年1-3月 年間を通じた光老化対策

2) 啓発サイト（ホームページ）の改修・コンテンツ強化

- (1) 眼の光老化追加
- (2) 帽子、日傘、サングラス、衣類、フィルム等の情報を充実
- (3) 一般向けアンケート実施
- (4) コラム定期配信

3) 美容・健康関連雑誌 記事・広告等

2. セミナー

- 1) 光老化に関する勉強会（2018年7月）
- 2) 市民公開講座
- 3) その他関係学会・団体への協力依頼を通してイベント開催予定

3. 「光老化」および関連事項（SPF, PA等）に関する認知度調査、眼科領域追加

■収支(予算案) 第三期活動 2018年7月～2019年6月

【収入】 3,780万円

第二期寄付金繰り越し	780
協賛金等	3,000
合計	3,780

【支出】 3,780万円

全国紙新聞広告	1,200
啓発資材作成（ポスター、小冊子）	300
ホームページ関連	350
PR活動費用	300
美容・健康関連雑誌記事広告掲載	200
市民公開セミナー	1,000
調査費	100
通信費・雑費	200
予備費	130
合計	3,780

協賛金募集要項

1. 募金の名称

「光老化」啓発プロジェクトに関する協賛金

2. 募金の目的

「光老化」の啓発を目的とした活動資金

3. 募金の目標額

3,000 万円

4. 募金申し込み方法及び期限

1) 協賛 A、協賛 B、協賛 C 1口 50 万円 何口でも

2) 協賛 D 1口 10 万円 何口でも

3) 協賛 E (個人) 1口 1 万円 何口でも

※詳細は協賛特典をご参照ください

5. 協賛金の用途

「光老化」の啓発活動を行うための運営費用

6. 協賛金の申し込み及び支払い

1) 所定の「寄付金（協賛金）申込書」を下記宛に送りください。

東京都千代田区内神田 1 丁目 8 番 9 号 福田ビル 2 階

TEL:03-3256-2575 FAX:03-6745-7678

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構内

「光老化」啓発プロジェクト事務局

2) 寄付金を次の口座へお振込みください。

銀行名：三井住友銀行 浜松町支店

口座名義：特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

口座番号：普通 7393411

7. 事業および決算報告

当法人ホームページによる公示及び事業報告書を提出いたします。

8. 問合せ窓口

東京都千代田区内神田 1 丁目 8 番 9 号 福田ビル 2 階

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構 事務局長 平松 泰成

E-mail : hikarirouka@npo-hifu.net

TEL:03-3256-2575 FAX:03-6745-7678

ご協賛者様特典

協賛A：5口以上（250万円以上）

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社バナー広告掲載1年間（社名記載・リンク含む）
- ・貴社主催セミナー等イベントでのプロジェクト名の使用
- ・貴社WEBサイトおよび印刷物等制作物における
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）
光老化啓発プロジェクト・ロゴマークの使用
- ・貴社名入りの啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・メディアセミナーへの参加
- ・貴社PR活動・取材への協力（啓発プロジェクト委員会医師による）
- ・委員会実施の各種調査結果公表前先行提供・貴社資材での使用

協賛B：2口以上（100万円以上）

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社名の掲載及び貴社指定サイトへのリンク
- ・貴社主催セミナー等イベントでのプロジェクト名の使用
- ・貴社WEBサイトおよび印刷物等制作物における
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）
光老化啓発プロジェクト・ロゴマークの使用
- ・貴社名入り啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・メディアセミナーへの参加
- ・貴社PR活動・取材への協力（啓発プロジェクト委員会医師による）
- ・委員会実施の各種調査結果提供・貴社資材での使用

協賛C：1口以上（50万円以上）

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社名の掲載及び貴社指定サイトへのリンク
- ・貴社名入り啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・貴社WEBサイトおよび制作物における
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）
光老化啓発プロジェクト・ロゴマークの使用
- ・メディアセミナーへの参加
- ・委員会実施の各種調査結果提供

協賛D：1口10万円 何口でも

- ・啓発プロジェクトホームページ・貴社名の掲載
- ・啓発ポスター、小冊子の提供 ※印刷費実費にて
- ・貴社WEBサイト
協賛企業呼称使用（光老化啓発プロジェクト協賛企業）

協賛E（個人）：1口1万円 何口でも

- ・啓発プロジェクトホームページ個人名の掲載（希望者のみ）

寄付金（協賛金）申込書

年 月 日

特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構
理事長 宮地 良樹 殿

住所 〒

寄付申込 会社
又は氏名

代表者又は

担当責任者名



光老化啓発プロジェクトの趣意に賛同し、下記のとおり協賛金を申し込みます。

記

1. 協賛金額

協賛 A 協賛 B 協賛 C

1 口 50 万円 _____ 口 (_____ 円)

協賛 D

1 口 10 万円 _____ 口 (_____ 円)

協賛 E (個人)

1 口 1 万円 _____ 口 (_____ 円)

2. 払込予定日

(注) 払込み時期が複数回に及ぶ場合は、第一回目の振込予定日およびその金額と、その後の払い込み概略を記入してください。なお、領収書は寄付金受領後の度にご送付いたします。

年 月 日 円

3. 振込先

銀行名：三井住友銀行 浜松町支店

口座名義：特定非営利活動法人 皮膚の健康研究機構

口座番号：普通 7393411

*振込手数料は御社にて御負担いただけますようお願い致します。

以上